

「初夢」って描いてみたでしょうか？

「男のロマンは女の不満」と言われますが、それを文字って「経営者のロマンは社員の不満」とも言います。「10年ビジョン」と言いますが、不確かな夢で儂いことが多いのですが、2025年大阪万博に関する夢は実現性が高いので夢みたいです。栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、品質づくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

「I have a dream .」

右掲は、「I have a dream」という演説で有名な故キング牧師です。黒人の公民権活動でノーベル平和賞(1964年)を受賞した方です。人種差別との戦いでシンプルな言葉で人々の心を動かしたのです。ケネディ大統領の「**Ask not what your country can do for you; ask what you can do for your country.**(国家が何をしてくれるかではなく、国家に何をできるかを問え)」という演説とともに語り継がれる名演説です。右下は、去年11月23日に2025年大阪万博の開催が決まったが、そのシンボルマークです。

2025年大阪万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」という事で、長寿社会と医療の発展や介護の近代化などが取り上げられるのです。「健康寿命」という言葉がありますが、他人の世話にならず自立した生活が基本になります。健康で長寿という2大課題に取り組む訳ですが、私は、98号でサミュエル・ウルマンの「青春」という詩から

「若さ」=「信念」x「自信」x「希望」

と公式化しています。この時、「希望」について「商品が夢を創ってくれる」と書き、その「商品」への感動が薄れて行くことに警鐘を鳴らしていました。

2025年大阪万博が決まった時に「孫たちと一緒にいける」と瞬間的に思い、胸がワクワクしたのを覚えています。6年先ですが、私は76才になっており、後期高齢者の仲間入りをして、自動車の運転免許証を自主返還するかという状況になっているのです。そういう寂しいイメージだったのが、何かパッと明るく「孫たち」と浮かんで楽しそうに会場を歩く姿を想像した訳です。そうや、これはキング牧師の有名な言葉「I have a dream」だと思った訳です。ホンマに他の方にもこの「夢」を語るようになったのです。



「具体的な夢」に向かって

私は、「人の夢は儂い」と思っており、自分の夢を他人に語った事がないのです。ただ、2025大阪万博は未来が確実な夢なのです。確実な「夢」なので、それが「儂い」とならない為には自分を含めて家族が健康に過ごしている事がベースなのです。お蔭様で6年先なら何とか元気にいけるという自信があります。孫たちも大きい方で13才なので、まだ、お爺ちゃんと一緒に万博へ行ってくれる可能性があるのです。そういう意味で「I have a dream」と言っても実現可能なので、決して「儂い」結果にならないと断言できるのです。

よく「ヘッドワーク、ハートワーク、フットワークの3つのワークが大切」と言っていますが、「頭」はまだボケることもないと思うし、「ハート」は孫たちに好かれているだろうと思うので、残るは「足腰」です。'75年の万博では自動車で行きましたが、流石に後期高齢者になっているのでマイカーではないとあきらめています。幸いにも会場へのアクセスでは、JRが現在、手前のUSJまで行っているので少し延伸すれば、夢洲会場につながる訳で実現性が高いので、この面も安心できるのです。

こうして2025年大阪万博を夢見ると実現性の高いものと確信できるのです。最大の課題は、自分自身が健康である事です。この「夢」を実現する為に健康へ意識を高める必要があります。まずは、食事です。加齢とともに基礎エネルギー代謝が低くなっているので、ロカボに心掛ける必要があります。例えば、ご飯の量や朝のパンにバターやジャム・蜂蜜をぬっていますが、これを意識して少なくする事です。丁度よい機会になったと思っています。早速スイッチを入れて実践しています。その他、健康には運動やストレス発散も必要ですが、1日数回で15~20分程度の徒歩を行っており、ほぼ毎日、昼休みを兼ねて30分110円の一人カラオケを楽しんでいますので、これを継続したいと思っています。よい「夢」を持つことが出来たと実感しています。

ワンポイント・アドバイス

今号は2025年大阪万博開催に絡めて「夢」を個人的な意味合いで書いています。ホンマに「夢」を人に語るのは恥ずかしいものですが、こうしてみると「夢」の価値を再認識するのです。若い時は、新しい事が現れると「妄想」したものですが、加齢とともに心を動かす事が少なくなっています。ホンマにいくつになっても「夢」を語りたいものだと思再認識しました。

